

新型コロナウイルス感染症に関する町長メッセージ

町民の皆様、こんばんは。すでに北海道胆振東部地震から1年7カ月が経過し、町内各地では、種々の災害復旧事業が加速し、景観も少しずつ落ち着きを取り戻し始めています。

そのような状況の中で、現在、新型コロナウイルスが猛威をふるい、感染者が、全国で10,000人に迫る勢いで感染拡大が続いています。

政府は、4月7日に新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく、緊急事態宣言を7都府県に発出しましたが、なお、感染拡大が止まらず、昨晚、全国47都道府県に地域を拡大しました。

北海道においても、連日、感染者数が記録を更新するなど、感染拡大の第2波ともとれる状況が続いています。

北海道知事も連日記者会見を行い、道民に対して感染拡大防止に向けた各種の要請を続けています。

第1に、不要不急の外出を控えること。特に今週末は、不要不急の外出を控え、人と人との接触機会をできる限り少なくすること。感染が広がっている札幌市との不要不急の行き来を控えるよう求めています。

第2に、繁華街の接客を伴う飲食店等とカラオケ、ライブハウス等、3密の代表的な施設の利用自粛を求めています。

第3に、各企業において、時差出勤の徹底を図るとともに、テレワークやTV会議の積極的活用促進を求めています。

第4に、ソーシャルディスタンスの実施です。日常生活において社会的距離をとる行動が求められています。屋外においても人と人との間に一定の距離を保つ必要があります。

以上の4点について、厚真町民の皆様にご理解、ご協力いただくようお願いをいたします。

幸いにも現段階では厚真町内において、新型コロナウイルス感染者は、確認されておりませんが、決して対岸の火事ではありません。

2月28日に北海道知事が独自の緊急事態宣言を発出以来、小中学校の臨時休業やこども園における登園自粛など町民の皆様には、本当にご不便をおかけしています。

特に、児童生徒やその保護者の皆さんにおかれましては、卒業式や入学式といった大切な節目を存分にお祝いすることが叶わなかったことに対しても、悔しい思いをされたことと思います。

また、せっかく新学期が始まり新しい生活がスタートしたにもかかわらず、又、臨時休業の措置を講じなければならないことは、関係者一同残念な気持ちでいっぱいであります。

しかし、今は、この新型コロナウイルスの早期収束を第1に考えなければなりません。

厚真町は、高齢化率が37%を超えています。高齢者や既往症のある方が罹患すると重症化のリスクが高まることや若者を中心に無症状のまま感染をさせてしまう症例もあることから新型コロナウイルス感染症拡大防止には万全を期していかなければなりません。

一人ひとりの自覚ある行動が自分だけではなく、家族、知人そして町民の皆さんの命を救うことに繋がります。

新型コロナウイルスの影響により、町内経済も縮小し、終息が見えず、非常に厳しい状況ですが、厚真町が今こそ一つになってこの国難ともいえる難局を乗り越えていきたいと考えています。

町としても北海道や国と足並みを揃えてできる限りの対策を講じてまいりますので、町民の皆様のご理解とご協力を切にお願い申し上げ、厚真町新型コロナウイルス感染症対策本部からの呼びかけといたします。

令和2年4月17日

厚真町長 宮坂 尚市朗